(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 4 月 7 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470102884		
法人名	社会福祉法人 可部大文字会		
事業所名	グループホーム（山まゆ）フルーツハウス		
所在地	〒731-0223 広島県広島市安佐北区大林4丁目10-26 (電話) 082-810-5585		
自己評価作成日	平成25年2月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成25年2月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

本事業所は、5ヶ年計画の「共感・責任・誇り」という職員の質の向上を念頭に置き、地域密着型施設として、積極的な交流に取り組んでいます。近隣の保育園・小学校との相互交流を始め、地元の自治会行事・季節行事への参加、週に1～2回の外出企画、年に2回の大型外出企画等積極的に外出の機会を作り、混乱しない程度の刺激ある生活を行う事で、認知症の緩和へと繋げています。また、昨年度同様、穏やかな生活の中にもその人らしい夢を持ち叶えて行こうという姿勢の個別ケアも継続しています。フルーツハウスは「個別ケア+地域交流促進」の2本柱として現在事業展開しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホーム（山まゆ）フルーツハウス（以下、ホーム）は、1年前に現在の場所に移転しました。民家や田畑に囲まれた環境にあり、地域住民からは、今まで通りの理解と信頼を得られています。ホームは、利用者の思いを叶えるという目標に向けて、きめ細かな個別ケアをめざし、その人らしい暮らしの支援に取り組まれています。家で暮らしていた時の習慣を尊重し、入居者の生きがいにつながるよう外出の機会を多く持ち、顔なじみの人たちとの交流を支援されています。また、法人は、積極的な職員育成に努め、グループホームらしい家庭的な支援となるよう努力されています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(1ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	各階に掲示すると共に、毎朝の朝礼時に唱和を行い、理念の共有化を図っている。	法人理念と併せてホームの目標を掲げ、唱和することで理念の共有を図り、浸透に努められています。入居者の思いをきめ細かく把握し、理念に沿った実践にむけてチームで取り組む姿勢が伺えました。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の一員として、自治会行事に参加し、自治会以外の地域活動(例:小学校行事等)にも参加している。	自治会には加入していませんが、小学校、神社、自治会の行事に積極的に参加し、顔なじみの人たちや地域との関わりが途切れないよう支援しておられます。また、ホームからも情報提供や情報収集に努め、お互いに交流できる関係づくりに努められています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	いきいきサロンで認知症講座を行い、日ごろの知識や技術を地域へ還元している。また、老人会の施設訪問時に、認知症の理解・支援の方法について伝達している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	施設での取組みの様子等を関係各位に報告すると共に、地域代表の方から近隣での行事や現況を聴取し、参加できる地域行事へ参加する等サービスに反映している。	会議では、自治会会長、民生委員、行政職員、家族の参加があり、活発な意見交換が行われています。また、地域の同業者との情報交換の場としても活用され、事例や助言を共有しお互いの支援に活かしています。会議を通じて、傾聴ボランティア「みみの会」とのつながりが得られています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議にて安佐北区担当職員とサービス内容について報告・協議行っている。また、地域行事にも参加し地元との協力関係を築くよう取り組んでいる。	市担当職員は、運営推進会議への参加を通じてホームの取組みや現状をよく理解されています。相談や取組みに対して助言や協力があり、良好な関係が築かれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止に関する研修を行い、周知理解に努めているとともに、掲示物で意識喚起を起こしたりと拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>拘束をしない支援を基本としています。研修を行い、事例を検討し参考に話し合い、身体拘束をしないケアについて意識の徹底を図られています。リビングに続くベランダは自由に出入りでき、ランチ、日向ぼっこ、花の世話のほか、ベランダ越しに地域住民と会話をするなど、閉塞感のない環境となっています。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待防止に関する研修を行い、職員に周知を図っている。また、時事ニュース等あれば、朝礼で流したりと啓発している。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>後見制度の研修を行い、その理解促進を促している。また、該当する利用者様がいる事を周知徹底している。</p>			
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前に、重要事項を十分に説明し、契約するが、その後の些細な質問にも丁寧に返答している。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>介護サービス計画書を承諾頂くときに、要望・意見を聴くとともに、アンケートによる要望調査等を行っている。</p>	<p>家族の意見は、面会の時や担当者会議の席や家族アンケートなどから把握されています。家族の意見から、参加しやすいよう日帰りバス旅行の実費負担分の見直しをした事例があります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	意見や提案がある時は、朝礼時やその都度聴き、本部の推進会議や毎月のフロア会議で反映している。	意見を言いやすい環境が整えられています。出された意見は可能な限り運営に反映するよう努められています。入居者の体調や状況に応じた食事のメニューの変更は、現場サイドで行うことができます。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	人事考課制度を導入している。また、悩みごとなどある時は、管理者⇄従業員とで話し合いの場を設け、職場環境の調整を図っている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	法人内研修を定期開催し、新人・中堅の分類はもとより期待する業務や長所を伸ばせるような研修参加を促している。また、働きはじめの新人は共通業務を行い、業務が早く覚えられるような習得体制を敷いている。新夜勤者には、3回のOJTの実施している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	法人内の他事業所との同業者交流は、機会を作り、勉強会やネットワーク作りを行っているが、法人外ではない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入所時には、他利用者様となじみの関係が構築できるよう配席を工夫したり、一人の時間や他者と交流する時間等にも配慮し、本人の安心確保に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入所時には、家族の思いや要望・不安な事柄をしっかりと傾聴し、安心して頂けるよう関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人・家族が入所に際し必要としている支援が何かをしっかりと聴き、重大な内容であればサービス計画書に挙げ、支援している。小さな事柄等あれば、すぐに応答している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は、利用者様にとって家族のような関係となるよう努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族との連絡を密にとり、家族の意向と本人の意向によりご本人様を支えていける様な関係が築けるよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>入居された方が、これまでと変わらない人間関係が維持できるよう、気軽な面会や御家族様への広報誌送付等で関係性が継続できるよう支援している。また、叶えられる行きたい場所は外出時に通る等、配慮している。</p>	<p>入居後も、できる限り今までの習慣や交友関係が継続できるよう努められています。地域に出かけ、行事や買い物などを通じて馴染みの人との交流の機会を設けておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>親しい間柄でなくても職員が間に入り、新たな関係を構築したり、1階2階の利用者様同士の交流を促したりしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>契約終了者が、新たに施設に入られた後でも、不安にならないよう連絡を行ったり、必要時は随時相談にのったりしている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々のケアの中で、思いや意向の把握に努めている。</p>	<p>日常の関わりや会話の中から入居者の思いを感じ取り、家族からも継続して話を聞くなどして思いや意向の把握に努められています。新しく得た情報は、入居後も落ちついて暮らせる支援に活かしておられます。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入所前の生活歴等を参考にし、入所後もその人らしい生活ができるよう支援している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>本人にあった1日の過ごし方ができるよう、本人の思いを汲み取り実践できるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人や家族の思いを汲み取り、それに沿ったケアが実践できるようモニタリングを行い、介護計画を作成している。</p>	<p>家族の意見や要望は、面会の時やアンケートによりきめ細かに聞き取られています。必要に応じて医師、専門職の意見を参考に、入居者一人ひとりの現状に即した介護計画の作成に取り組まれています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や介護経過は、毎日個別の記録をしている。また、それを共有し、計画を見直しながら、活かすように努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個々の要望をお出かけレク等を通し、日々のサービスの枠に捉われず実践している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣で車椅子対応のスーパーや段差の少ない外出先へ出かけたりし、利用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医や本人の望む主治医と連携を図っている。また、主治医以外にも要望や訴えがあれば、随時対応している。</p>	<p>受診は、入居者、家族の希望するかかりつけ医と協力医療機関で行われています。夜間や緊急時にも対応できるよう医療との連携体制が整えられ、適切な医療が受けられるよう支援されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日常的に看護職員と報告・連絡相談を行い、利用者様が適切な受診や看護を受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者様が、入院した際は、定期的に入院の御様子を伺いに行き、治療過程・早期退院・退院後の受け入れ等、細かな情報交換を病院関係者と管理者間で行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化対象となった場合、すぐにご家族様に現状の報告と今後の方向性について話し合い、医療的な事を求められたら、主治医へ相談・連絡し、危篤時の対応について事前確認を行っている。</p>	<p>入居者と家族の思いを受け止め、できる限りホームで暮らせるよう支援されています。重度化した場合は、家族や医師と対応について話し合いを重ね、チームでの支援に取り組まれています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>事故発生時の対応については、新人研修で行うとともに、中途採用者にも緊急時の対応についての研修も行っている。また、不明な点があれば、先輩職員が都度教え、緊急時の対応が誰でも行えるようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を行っているが、まだ職員全員が避難方法を身につけてはいない。また、災害対策に関しての地域との協力体制は、まだしっかりと構築できていない。次年度の課題となっている。</p>	<p>消防署の指導、助言のもとに避難訓練が行われています。災害時における地域との協力体制の実現に向けて、話し合いが行われています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、人格の尊重や誇り・プライバシーを損なわないような言葉かけや対応に努めている。	一人になりたい人には一人で過ごしてもらうなど、その人らしい暮らしができるよう心がけておられます。職員は明るく穏やかな声かけや対応をされ、入居者のその日の状況に合わせ、落ちついて過ごせるよう支援されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様が希望や思いを表現できるよう傾聴し、利用者様に合わせた声かけを行い、自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々、利用者様の過ごし方に合わせ、意向を傾聴し、それに応じたケアに努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日着る衣類を本人に選んで頂いている。なんでも構わないと言われる方にも職員から声かけを行い、おしゃれができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜の皮むきや配膳の準備等、一緒に行ける場合は行っている。片づけ・食器洗いは役割として行って頂いている。	食事は、職員の手作りで、食欲をそそるよう、彩りにも配慮されています。入居者は、無理をせず、経験を活かしながらできることを一緒にされています。陶器の食器が使用され、茶碗、コップ、箸は入居者一人ひとりに用意されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>各利用者様に応じた食事形態で提供している。1日の水分量を1500cc以上となるよう支援している。また、水分制限・塩分制限などある方は、可能な限り一人1人に応じた食事を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、全員口腔ケアを実施している。まだできるブラッシングなどは自力にて行って頂いたりし、現存機能を活かしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>オムツやパット使用者でも、全員日中は、トイレにて排泄を行っている。一人一人の排泄パターンを探り、それを実践できるよう心がけてケアに取り組んでいる。</p>	<p>排泄の自立をめざし、オムツを外した暮らしに取り組み、トイレでの排泄を支援されています。現在のところ、日中は全員がトイレ誘導で排泄されています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>利用者の状態に応じ、下剤だけに頼らず、寝覚めの冷水・牛乳等の工夫を行っている。また、運動や腹部マッサージを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>時間や曜日は利用者様の希望に合わせて、設定しているが、要望が重なれば、本人様と相談し、入浴を行っている。</p>	<p>入居者の希望を優先した入浴を支援されています。入居者一人ひとりの状況に合わせて見守りや介助が行われ、安全で楽しみな入浴支援に取り組まれています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>昼食後の休息や就寝時間等、個々のペースに合わせ、対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の用法・用量を主治医に処方される段階で、本人・職員ともによく確認し、理解している。症状の変化がないかどうか日頃から観察も行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>日々の生活に張りを持った頂けるよう、生活に必要な作業(洗濯物干し・畳み、食事の準備・片づけ、掲示物の作成・片づけ等)を役割を持って営んで頂いている。また、気分転換に散歩を積極的に行い、体力作りにも努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日々の外出は、頻繁に散歩を行い、その中で普段行けないような場所や希望を探り、外出レク時に反映できるよう努めている。</p>	<p>入居者のしたい、行きたいの気持ちを尊重し、日常的にホーム周辺を散歩したり、遠方にも日帰りで行きかけたりしています。ホーム長が作業療法士の資格を持ち、作業療法の視点からも散歩を重視し、機会あるごとに地域へ出かけられています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>御要望があれば、金庫からすぐに出金し、買い物へ出かけている。また、お金がなくて不安が募る方には、金庫の所在を伝え、管理している事を一時的ではあるが、十分に理解して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御本人様の要望があれば、支援を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有のフロアは、季節感のある飾り等を掲示する等し、工夫している。また、不快感や混乱を招くような掲示物は避け、できるだけ自然光が入るよう配慮している。	玄関スペースにお雛様を飾り、腰かけてゆっくり過ごすことができるようにベンチがおいてあります。リビングには優しい陽が差し込み、気候の良い日には自由にベランダを出入りし日なたぼっこを楽しむこともできます。広いスペースを確保し、体操やレクリエーションなど日中の大半を居室からでて過ごせるよう工夫された空間となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席の配置や、中庭・相談室等活用し、居場所作りを行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人や家族の思いを汲み、居室の家具の配置や使い慣れたものを使用してもらっている。	入居者は使い慣れた家具や、テレビなど馴染みの物を持ち込み、入居後も落ちついて暮らせるよう工夫されています。居室には陽が差し込み、風通しなど自然換気にも配慮されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立した生活が送れるように、手すりが完備されていたりと安全に生活が送れるよう配慮している。		

V アウトカム項目(1ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(2ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	各階に掲示すると共に、毎朝の朝礼時に唱和を行い、理念の共有化を図っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の一員として、自治会行事に参加し、自治会以外の地域活動(例:小学校行事等)にも参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	いきいきサロンで認知症講座を行い、日ごろの知識や技術を地域へ還元している。また、老人会の施設訪問時に、認知症の理解・支援の方法について伝達している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	施設での取り組みの様子等を関係各位に報告すると共に、地域代表の方から近隣での行事や現況を聴取し、参加できる地域行事へ参加する等サービスに反映している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議にて安佐北区担当職員とサービス内容について報告・協議を行っている。また、地域行事にも参加し地元との協力関係を築くよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止に関する研修を行い、周知理解に努めているとともに、掲示物で意識喚起を起こしたりと拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待防止に関する研修を行い、職員に周知を図っている。また、時事ニュース等あれば、朝礼で流したりと啓発している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>後見制度の研修を行い、その理解促進を促している。また、該当する利用者様がいる事を周知徹底している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前に、重要事項を十分に説明し、契約するが、その後の些細な質問にも丁寧に返答している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>介護サービス計画書を承諾頂くときに、要望・意見を聴くとともに、アンケートによる要望調査等を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	意見や提案がある時は、朝礼時やその都度聴き、本部の推進会議や毎月のフロア会議で反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課制度を導入している。また、悩みごとなどある時は、管理者⇄従業員とで話し合いの場を設け、職場環境の調整を図っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内研修を定期開催し、新人・中堅の分類はもとより期待する業務や長所を伸ばせるような研修参加を促している。また、働きはじめの新人は共通業務を行い、業務が早く覚えられるような習得体制を敷いている。新夜勤者には、3回のOJTの実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の他事業所との同業者交流は、機会を作り、勉強会やネットワーク作りを行っているが、法人外ではない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所時には、他利用者様となじみの関係が構築できるよう配席を工夫したり、一人の時間や他者と交流する時間等にも配慮し、本人の安心確保に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入所時には、家族の思いや要望・不安な事柄をしっかりと傾聴し、安心して頂けるよう関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人・家族が入所に際し必要としている支援が何かをしっかりと聴き、重大な内容であればサービス計画書に挙げ、支援している。小さな事柄等あれば、すぐに応答している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は、利用者様にとって家族のような関係となるよう努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族との連絡を密にとり、家族の意向と本人の意向によりご本人様を支えていける様な関係が築けるよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>入居された方が、これまでと変わらない人間関係が維持できるよう、気軽な面会や御家族様への広報誌送付等で関係性が継続できるよう支援している。また、叶えられる行きたい場所は外出時に通る等、配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	親しい間柄でなくても職員が間に入り、新たな関係を構築したり、1階2階の利用者様同士の交流を促したりしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了者が、新たに施設に入られた後も、不安にならないよう連絡を行ったり、必要時は随時相談にのったりしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中で、思いや意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前の生活歴等を参考にし、入所後もその人らしい生活ができるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人にあった1日の過ごし方ができるよう、本人の思いを汲み取り実践できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人や家族の思いを汲み取り、それに沿ったケアが実践できるようモニタリングを行い、介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や介護経過は、毎日個別の記録をしている。また、それを共有し、計画を見直しながら、活かすように努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個々の要望をお出かけレク等を通し、日々のサービスの枠に捉われず実践している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣で車椅子対応のスーパーや段差の少ない外出先へ出かけたりし、利用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医や本人の望む主治医と連携を図っている。また、主治医以外にも要望や訴えがあれば、随時対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日常的に看護職員と報告・連絡相談を行い、利用者様が適切な受診や看護を受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者様が、入院した際は、定期的に入院の御様子を伺いに行き、治療過程・早期退院・退院後の受け入れ等、細かな情報交換を病院関係者と管理者間で行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化対象となった場合、すぐにご家族様に現状の報告と今後の方向性について話し合い、医療的な事を求められたら、主治医へ相談・連絡し、危篤時の対応について事前確認を行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>事故発生時の対応については、新人研修で行うとともに、中途採用者にも緊急時の対応についての研修も行っている。また、不明な点があれば、先輩職員が都度教え、緊急時の対応が誰でも行えるようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を行っているが、まだ職員全員が避難方法を身につけてはいない。また、災害対策に関しての地域との協力体制は、まだしっかりとは構築できていない。次年度の課題となっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、人格の尊重や誇り・プライバシーを損なわないような言葉かけや対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様が希望や思いを表現できるよう傾聴し、利用者様に合わせた声かけを行い、自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々、利用者様の過ごし方に合わせ、意向を傾聴し、それに応じたケアに努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日着る衣類を本人に選んで頂いている。なんでも構わないと言われる方にも職員から声かけを行い、おしゃれができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜の皮むきや配膳の準備等、一緒にできる場合は行っている。片づけ・食器洗いは役割として行って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>各利用者様に応じた食事形態で提供している。1日の水分量を1500cc以上となるよう支援している。また、水分制限・塩分制限などある方は、可能な限り一人1人に応じた食事を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、全員口腔ケアを実施している。まだできるブラッシングなどは自力にて行って頂いたりし、現存機能を活かしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>オムツやパット使用者でも，全員日中は、トイレにて排泄を行っている。一人一人の排泄パターンを探り、それを実践できるよう心がけてケアに取り組んでいる。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>利用者の状態に応じ、下剤だけに頼らず、寝覚めの冷水・牛乳等の工夫を行っている。また、運動や腹部マッサージを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>時間や曜日は利用者様の希望に合わせて、設定しているが、要望が重なれば、本人様と相談し、入浴を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼食後の休息や就寝時間等、個々のペースに合わせ、対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の用法・用量を主治医に処方される段階で、本人・職員とよく確認し、理解している。症状の変化がないかどうか日頃から観察も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々の生活に張りを持った頂けるよう、生活に必要な作業(洗濯物干し・畳み、食事の準備・片づけ、掲示物の作成・片づけ等)を役割を持って営んで頂いている。また、気分転換に散歩を積極的に行い、体力作りにも努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日々の外出は、頻りに散歩を行い、その中で普段行けないような場所や希望を探り、外出レク時に反映できるよう努めている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	御要望があれば、金庫からすぐに出金し、買い物へ出かけている。また、お金がなくて不安が募る方には、金庫の所在を伝え、管理している事を一時的ではあるが、十分に理解して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	御本人様の要望があれば、支援を行っている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	共有のフロアは、季節感のある飾り等を掲示する等し、工夫している。また、不快感や混乱を招くような掲示物は避け、できるだけ自然光が入るよう配慮している。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	席の配置や、中庭・相談室等活用し、居場所作りを行っている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	本人や家族の思いを汲み、居室の家具の配置や使い慣れたものを使用してもらっている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	自立した生活が送れるように、手すりが完備されていたりと安全に生活が送れるよう配慮している。		

V アウトカム項目(2ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム(山まゆ) フルーツハウス

作成日 平成 25 年 4 月 22 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		遠方への外出や行事は多いが, 近隣への身近な外出が少ない。	個人の要望等に合わせた身近な外出支援。	外出支援を強化した日を設け, 積極的に外出の機会を作る。	12か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。